



tamagawagakuen-chounaikai 町田市玉川学園 2-19-5
玉川学園町内会 月曜日～金曜日 10:00～16:00
※祝祭日を除きます
 Tel/Fax : 042-725-0438 t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp
<https://tamagawagakuen-chounaikai.net> (※QRコードもご利用ください)



防災連絡会の案内 | 防犯防災部

3月5日(日)午前10時から、玉川学園コミュニティセンター・多目的ホールにて、防災連絡会を開催いたします。どなたでも事前予約なしで参加できます。

昨年5月、東京都が首都直下地震の被害想定を改定し公表しました。多摩東部直下地震では、玉川学園・東玉川学園地域において地震による火災で焼失する家屋が多いことが想定されています。今回は、この地震による火災について、町田消防署の専門家を招いて、その対策も含めて学習します。



日時：3月5日(日)午前10:00～11:30
 場所：玉川学園コミュニティセンター B1多目的ホール
 お願い：マスクを着用してご参加ください。
 体調のよくない方の参加は、ご遠慮ください。
※事前予約なしで、どなたでも参加できます。

街の小さな音楽祭の案内 | コミュニティ部

今年も小さな音楽祭がやってきました!!玉川学園在住の音楽家による「春のコンサート」子どもからお年寄りまで楽しめる日本の歌をアラカルトでお届けします。

そして、1年間の成長が楽しみな町田第五小学校「まち GO!」で活躍している子ども達の澄んだ歌声と元気っぱいの演奏を聴き、最後は輪になり玉川音頭を一緒に踊りましょう。



日時：3月18日(土)14時30分から16時(14時開場)
 場所：玉川学園コミュニティセンター 多目的ホール
 出演：音楽家 田川里穂さん、ら・ぽるとジュニアコア、ら・ぽると吹奏楽団、玉川音頭

「花を巡って焼き団子」と「はなびら市」 | 第二地区

今年も開催を予定しております。ぜひお越しください。
第13回 はなびら市 & さくら巡り
玉学はなびら市実行委員会
花を巡って焼きだんご
第二地区・さくらと緑のプロジェクト
 開催日：4月1日(土) 詳細は町内会だより3月号でお知らせします。

商店会のクリスマス・イベントに参加しました | コミュニティ部

昨年12月24日、商店会のクリスマス・イベントで豚汁を配りました。昨年好評であったため、今回は300食用意しました。午前中にこすもす会館で調理し、午後2時よりポケットパークにて提供しました。豚バラ肉はじめ、里芋・大根・人参・牛蒡・蒟蒻・厚揚げ・葱を入れた具沢山の豚汁は美味しいと大好評!昨年よりも数を増やしたことで、イベントの途中で無くなることなく、最後まで配ることができました。さらに町内会の役員さんがサンタ姿でイベントを盛り上げてくれました。優しいサンタさんは大人気!子ども達に囲まれていました。年の瀬の気ぜわしい中、商店会のイベントと合わせ、大勢の方に喜んで頂けたことと思います。これもひとえに年末のお忙しい中、ご協力いただいた皆様のお陰です。ありがとうございました。

認可地縁団体登録申請に向けて | 総務部

玉川学園町内会では、今期(2022年度)の事業計画として「組織体制の強化に備えて、認可地縁団体の取得に向けて準備を進める」ことを掲げております。町内会だより12月号では、認可地縁団体とは何かについてご説明いたしました。1月号では、認可地縁団体に登録した場合のメリット及び登録の為の必要条件についてご説明致します。

過去二回の説明で概ねご理解頂けたと思います。今回は、登録申請に向けての作業日程についてご説明致します。

- <2023年3月末まで>
 *会則・細則について、町田市の要求仕様に沿って現行の町内会会則・細則を組み入れた形になります。
 現在、幹事会で「会則・細則」について検討を行っております。
- <2023年5月定期総会で>
 *「新会則・細則議案」の承認を受けます。
 *「認可地縁団体登録申請を行う議案」の承認を受けます。

承認された場合

- <2023年6月以降>
 *町田市に対し、登録申請の手続きに入ります。
- <2023年8月末頃までに>
 *認可地縁団体(法人格)取得を目指します。

防災体験学習の報告 | 防犯防災部

12月4日(日)に、今年度第1回目の防災体験学習が、地区自主防災隊、防犯防災部員を中心に参加者25名で立川防災館にて開催されました。



コロナ禍で立川防災館の予約が30人までと制限があったことから開催を2回に分け、経費節約の為、公共交通機関利用での実施となりました。小田急線、南武線、バスを乗り継いでの行軍です。

今回は、2班に分かれて、防災ミニシアター、地震体験、応急救護体験、救出救助体験の4つの体験コーナーでの学習となりました。「楽しみながら防災体験」を標語にしている立川防災館ですが、実際の防災体験は、皆真剣そのものでした。特にAED(自動体外式除細動器)を使用する際の応急救護体験では、突然に心停止された方への心臓マッサージから、それに続くAEDの使用方法を全員が体験しました。一刻を争う状況の中で、普段からの訓練によって焦らずに適切な対応が取れると思えました。AEDを使用する際のワンポイントとして、体が濡れているようであればタオル等で水分をふき取ってからAEDを使用します。いつ起こるか分からない災害に対して、普段からの準備が大事だと思った1日でした。

「町をきれいに、ポイ捨てお断り」の路面ステッカー | 環境部

1月17日(火)、商店街の35地点の路面にステッカーを貼付しました。

元気な人はうつむいて歩くことは少ないと思いますが、駅から出た時やスーパーやコンビニを出た時など下を見て頂くと「タバコや缶のポイ捨てはやめ、ゴミも家まで持ち帰りましょう」というロゴの路面ステッカーを見ることがあると思います。この度、町田市環境共生課の企画で、玉川大学芸術学部の学生がゼミ授業の一環としてステッカーをデザインしました。町内会は作品の選定と貼付する場所の選択等に協力しました。



デザインを志す若者の作品はいずれも秀作で選定は難しい作業でした。駅周辺のステッカーは乗り降りどちらからも読める丸形で町田リス園のリスをマスコットにしました。商店街の出口や坂下には親子で家までゴミを持ち帰るキャンペーン内容を表現したものを選びました。喫煙場が設置できずに禁煙区域を設定できなかった経緯もあり、特に吸い殻の多い場所にはタバコのポイ捨てをモチーフにしたものを貼りました。当日は玉川大学の先生や学生へのメディアのインタビューや貼付作業の録画などもあって終始和やかな一日でした。



防災コーナー 要石

かなめいし

一防犯防災部

首都直下地震への備え（食料備蓄）

今回は、災害時の食料や食料備蓄についてお話しします。

食料品は、フードロスを抑えるため適切な在庫管理が行われていて、市場に存在する量は限られています。したがって、流通の一部でも不具合があると、スーパーやコンビニからあつという間にもがなくなります。その不具合の最たるものが災害です。

首都直下地震などの大きな地震が発生すると、電気・ガス・上下水道だけでなく道路や交通機関、流通なども被害を受けます。流通は道路や交通機関が被害を受けるとストップしてしまいます。また、流通の主力を担うトラック輸送では、輸送を担うトラックやトラック運転手自身も被災します。人口が集中する首都圏においては、道路の復旧とともに流通の早期復旧が課題となっています。

流通の世界では、いつ発生するか予測がつかない震災については、事前の対策が取れません。

【国や東京都・町田市の対応】被災した人々のために、国や自治体は食料の備蓄を行っています。町田市は、東京都が作成した首都直下地震の被害予想をもとに下図に示す避難者のために3日間分の食料を避難施設などに備蓄しています。その備蓄食料は、乳児用の粉ミルクを除けば、米飯とビスケットのみです。

地域	避難者数1	避難者数2	避難者数合計
①町田市全域	52,939人	39,819人	92,758人
②町田第五小学校を避難施設とする地域：第一地区～第四地区、第五地区・第七地区の一部、他	3,738人	977人	4,715人
③南大谷小学校を避難施設とする地域：第八地区、第七地区の一部、他	1,303人	831人	2,134人
④成瀬台中学校を避難施設とする地域：第六地区、他	784人	660人	1,444人
⑤金井小学校を避難施設とする地域：第五地区の一部、他	1,098人	392人	1,490人

注：町田市の地域防災計画（2020年度修正版）より転記
避難者数1：建物被害（家屋の倒壊や焼失）による避難人口
避難者数2：ライフラインの支障により食料などの物資を求める人口

国は、被災者のために4日目以降の食料を都内のいくつかの大型防災倉庫に分散して備蓄しています（東京都の場合）。多摩地域には、立川に多摩地域広域防災倉庫があります。国は、首都直下地震のような大きな地震が発災した場合、町田市の要請がなくても4日目から7日目までにプッシュ型支援と称して、これらの都内の防災倉庫から町田市の総合体育館に、食料などの物資を輸送するという計画を立てています。更に、町田市は、総合体育館から市内の71か所の避難施設まで物資を配送する計画を進めています。ここでいくつか大きな問題があります。

【食料不足】もっとも人口の多い地域②の例で、問題点を説明します。2020年度に行った防災アンケートでは、食料備蓄について設問を設け、回答をいただいています。その中で、3日間の食料備蓄に満たないと回答した世帯が約37%ありました。内訳は、備蓄なしが約25%、1日分が2%強、2日分が9%強。この地域では、在宅避難者の食料として約2万食分の食料が足りていず、町田市の「避難者数2」の備蓄食料をあてにすることになりますが、その量は約8,800食しかありません。この地域では、約1万食以上も不足していることとなります。この食料不足は、他の地域でも同様です。

【物資輸送上の問題】問題点は、いくつかあります。

- ・東京都の広域防災倉庫からの配送は民間の輸送業者があたりますが、トラックや運転の人手不足などで解決していません。
- ・プッシュ型支援については、4日目からの配送の実現性が疑われています。
- ・食料などの物資の配付は避難施設（例えば、町田第五小学校）で実施されますが、高齢世帯など重い荷物を運べないなどの理由で受け取りができない世帯が多数存在します（発災直後から一般車両の通行は禁止されています）。この問題については、玉川学園町内会と自主防災隊で策定中の「防災計画」で対応を検討しています。その実現には、地域住民の協力が不可欠です。

【地域住民側の対応策】私たちの取るべき対応策は、とにかく食料を備蓄することです。食料備蓄の目安は、最低でも1週間分です。歩き回って食料を調達することが難しい高齢世帯などは、最低でも2週間分、できれば1ヶ月分を備蓄することをお勧めします。次の節で、現実的な備蓄方法を案内します。

【無理のない備蓄方法】避難生活に必要なエネルギーを得るためには、炭水化物の摂取が必要です。備蓄方法としては「東京防災」でも紹介している日常備蓄（ローリングストック）が無駄にならず最適な方法です。主食となる普段使いの米や乾麺、パスタ（スパゲティ）、小麦粉、ホットケーキミックス、イモ類（サツマイモ、ジャガイモ）などを備蓄します。

例えば、米の場合、下記の表にある分量を余分に備蓄しておき、現在お使いの米が無くなりそうになったら一袋補充します。古い袋から順に使っていきます。

家族構成	1人	2人	3人	4人
高齢者世帯	5Kg	10Kg	—	—
その他の世帯	10Kg	20Kg	20Kg～30Kg	30Kg

※一ヶ月分の米の備蓄量（目安）

他の世帯を」を参考にしてください。表は市販の5Kgまたは10Kg入りのお米を購入することを前提に作成しています。

煮炊きするための備品 岩谷産業株式会社ホームページ
www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/products/cg/useful/stockpile/
煮炊きしたり、お湯を沸かしたりするためにカセットコンロとカセットボンベは必需品です。カセットボンベの備蓄については、上記 iwatani のサイトなどをご覧ください。

町内会だよりコラム「災害レシピ」cookpad (cookpad.com/) 非常時のレシピを掲載しています。「防災 ごはん」「防災 パスタ」「防災 うどん」簡単にご飯を作る方などは先月号に「防災ホットケーキミックス」と検索すると多くの掲載しています。参考にしてください。レシピが得られます。

備蓄をして おきましょう！ 主食に不足する栄養源として、普段使いの保存がきく野菜や果物、各種の乾物、缶詰、お菓子（栄養価の高い、ポップコーン、チョコレート、玉子ポーロ、ゴマせんべい、ナッツ類などがおすすめ）を備蓄しておきましょう。

もちつき体験会の報告

コミュニティ部

コロナ禍のため2年間実施できなかった「もちつき体験会」を今年やっと開催することが出来ました。

1月14日（土）、新しくなった玉川学園コミュニティセンターにて実施しました。小雨模様にもかかわらず事前に予約した200人近い人たちのほとんどが参加してくれました。もち米をテラス脇で蒸すところから始めて、テラス前のスペースにテントを張り設置した臼と杵を使って餅をつくところまで参加者の皆さまに見て頂きました。



密にならないように人数に配慮して参加者を3回に分けて行い、まずは大人たちの手で米をすりつぶしてある程度までついた状態にした後、ボーイスカウトから借用した子ども用の杵を使って、実際に子ども達にもついてもらいました。「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて「ぺったん、ぺったん」。力いっぱいお餅をついて頑張る子ども達のたくましい姿に親御さんも目を細めていました。残念ながら安全面等の配慮からついたお餅をその場で食べてもらう事は出来ませんでした。参加者の皆さんには別途玉川学園の和菓子店で購入したつきたてのお餅を持ち帰ってもらいました。



文・画 本田亮

雪の日の資源物回収についてのお願い

環境部

玉川学園町内会では、資源物の収集を(有)大綱資源に委託しています。

冬の時期は雪が降り積もることがあります。足元が悪く転んで怪我をする可能性もあります。資源回収日であっても無理して出すのではなく、次の収集日まで待つていただくこともお考え下さい。

資源回収の報告 12月重量は101.6トンでした

環境部



収集当日の朝8時半までに出してください

※古紙・ダンボールは必ず紙ひもで括ってください
※古布は一度に出さず分散して出してください

資源物は

資源物のお問い合わせは

町内会事務所または 大綱資源へ

▶ ☎045-929-4813

資源物の不正な抜き取りを目撃した時は

日時、場所、回収車の車両番号などを町内会まで

▶ ☎725-0438